



わたしのおすすめ

子どもたちの力で出雲街道を旅しよう!

津田真悠梨さん(小学6年・山北)



子どもたちが出雲街道の人や自然を肌で感じながら歩いていきます。津山を出発した4年前から毎年夏に少しずつその距離を延ばしてきました。この夏は、いよいよ終着の出雲市をめざします。

私はこれまで2回参加しました。長い距離を歩くけれど、飯ごう炊飯やテント張りなどふだんの生活ではできないことをいろいろと体験できて楽しいです。それに、たくさんの友だちができました。印象に残っているのは最初に参加したときにみんなと日本海で泳いだことです。今年はゴールの出雲大社で成績が上がるよう

にお祈りしたいです。小学校の夏の思い出にいっしょに参加してみませんか?



出雲街道アドベンチャー体験

と き 8月26日(金)~28日(日)
 コース 鳥取県松江市~出雲市(松江城、宍道湖、出雲大社見学ほか)
 ※3日で30キロ歩きます。津山との往復はバス
 対象 小学校4~6年生
 定員 15人(応募者多数の場合は抽選)
 参加費 1人3,000円
 締め切り 7月27日(水)
 申込方法 電話かファクスで申し込む
 申込・問い合わせ先 社会教育課 ☎32-2118、☎32-2147



宝塚歌劇との出会いはいつですか?

中学生のときです。

歌劇を見て、それまでに見たこともない華やかさを感じ、帰りのバスでもまだ夢を見ているような気持ちでした。でも、そのときは、まさか自分がこの世界に入るとは思っていませんでした。

入りたいと思ったのは、宝塚音楽学校の合格発表で幸せそうに涙を流す受験生の姿をテレビで見たときです。そのときは高校受験前で、周囲の反対もあり受けませんでした。その後、高校に進んでも夢を捨てきれず「このままだと後悔する」と思って挑戦しました。合格したときの信じられない夢のような気持ちは一生忘れないと思います。

2年間の音楽学校での生活はどうでしたか?

毎日歌や踊りが勉強できる



のがうれしくて幸せを感じていました。同期生とは朝から夜までいっしょで、心が通じ合う姉妹のような仲間です。この仲間といっしょに舞台上に立てるといふ夢が支えになり、いろいろなことを乗り越えられました。

名前は津山の桜にちなんでつけられたんですね。津山のみなさんへ何かメッセージを。

今舞台でいろいろな役をさせていただいても幸せで、毎日充実した日々を過ごしています。これからも勉強に勉強を重ねてすてきな舞台人をめざしてがんばりたいと思います。みなさんぜひ見に行ってください。

7月初旬まで行われた東京公演後も、8月の博多座



©宝塚歌劇団

秋の宝塚大劇場で公演が控えている桜乃彩音さん。津山で多くの人に応援しています。がんばってください。

▲新人公演「マラケシュ・紅の墓標」でヒロインを演じる桜乃さん

山だいき！



わたしも
ひとつと

加茂郷マラソン
に再挑戦
したい！

4月に行われた作州・加茂郷フルマラソン全国大会を応援しました。2年前私は選手として出場したのですが、今回走っている選手を見て来年また挑戦しようと思いました。(加茂町桑原・男性)

この大会は平成5年にスタートし、今年で13回目。誰でも参加できることや、地元の人々による心のこも



つたもてなしと応援を誇りにこれまで続けてきました。そのことが評価され「2004全国ランニング大会100撰」の1つに選ばれました。同100撰はランニングの専門誌の読者が「他の大会にない特徴がある」「気軽に出場できる」などを基準に、昨年行われた全国1、600レースの中から選ぶ企画です。今回で5回目の認定となりました。来年はぜひランナーとして参加してください。スポーツ課加茂町スポーツセンター 42・3358

未来をひっぱる 津山人

すてきな“舞台人”をめざして

宝塚歌劇団花組 桜乃彩音さん



今回は、宝塚歌劇団花組所属の桜乃彩音さん(二宮出身)です。今年3月からの『マラケシユ・紅の墓標』の新人公演でヒロイン役に大抜擢されましたね。

まさか自分がヒロイン役をいただけるものとは思っていませんでした。みなさんの足を引っ張るのでは、という不安もありましたが、いただいたからには役を追求して精一杯やり遂げたいという気持ちが大きかったです。実際に役を演じていかがでしたか？

大劇場でのヒロイン役は劇場空間の広さに負けないものを出さないといけないと感じました。また、役も自分とは違った大人の女性。抑えた演技が求められ、芝居の難しさを実感しました。また、今回は特に「気持ちでお芝居をする」ということを学びました。先生から言われた「気持ちにはボールのように常に動いていないといけない」という言葉を次のお芝居にかしたいと思います。今後の目標は何ですか？

もっと演技の幅を広げていろいろな役を演じたいです。常に真っ白でクリアな状態でいて、役ごとにカラーをつけていくことができたら、と思います。そのためには、初心を忘れずに歌や踊りなどの技術的な面も向上させなければなりません。今は、舞台におけるすべての面で課題が山積み状態。でも、それは宝塚にはない限り納めることで、ずっと勉強し続けたいです。